

不思議の国より（No.2）（2025.12） Alice（西東京）

「西東京市ってどこ？聞いたことがないけど？」とよく聞かれる。それもそのハズ、24年前に田無市と保谷市が合併してできた市で、私の住むひばりヶ丘は田舎と都会が共存し、大変暮らしやすい町です。「自由学園がある町」と言えば、年輩の人は「ああ」と答える。

「私が一番きれいだったとき」で知られる詩人茨木のり子は晩年の48年を保谷市で暮らし、1982年「憲法擁護・非核都市宣言」草案にかかわった一

「みどり濃いまち ほっとする保谷に 私たちの
くらし 木や鳥や虫たちとともに 日々のいとなみ
静かなあけくれ 平和をねがう すべての国の
ひとびととともに 守り抜こう このなんでもない
しあわせ 新に誓う いっしょに育てる この地方
自治 そっくり子供たちに手わたすことを この市民
の声を 憲法擁護・非核都市保谷の宣言とする」



彼女の郷土資料室に連れて行ってくれたのも我が家のすぐそばに住む90歳の超元気のいい名物叔母(ア)様だ。今日はオペラ、明日は横田基地すわりこみ、そのつぎは日本画展、戦争展、シャンソン、いま子どもと学校は？ どこに行つても知り合いはいる。彼女を見ていると、年を取るのもまんざらでもないと思う。

印象に残っているのは、187票差で岸本聰子杉並区長を当選させた世話人の小関啓子さんのお話だ。兵庫の斎藤知事と違って、トップが変わるとこんなにも変わるかと思う。常に区民の意見を聞き、粘り強く下から積み上げ素晴らしい成果をあげている。小関さんは、映画「〇月〇日区長になる女」監督ペヤンヌマキ(溝口真希子)さんと共に全国をまわっているという。是非兵庫の皆さんにも見て感じてほしいと思う。